

ぽっ はーと

CONTENTS

- 2 外来予約専用ダイヤル新設／むすびプロジェクト
- 3 栄養科通信
- 4 リハビリだより①
- 5 リハビリだより②
- 6 薬剤科だより／医療安全推進週間
- 7 きずな
- 8 プチ脳トレ／病院案内



予約専用 電話番号のお知らせ

外来診療予約専用の電話番号を昨年11月に新設しましたので、ご案内いたします。

外来予約専用：0285-50-8211

※予約・予約変更受付は、平日14:00～16:00の時間帯となります。

外来リハビリのご予約・キャンセル等については、
0285-50-8222 までお願いいたします。

その他病院に関するお問い合わせは、
0285-56-7111 (代表) へご連絡ください。

むすび♡ プロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第3回 むすびプロジェクト研修会 「その人らしさを支えるチームアプローチ」開催

令和6年8月2日、第3回むすびプロジェクト研修会が開催されました。カマチグループリハビリテーション関東統括本部長である稲川利光先生と、小金井リハビリテーション病院の作業療法士である村上直也さんが講師を務め、リハビリテーション科631名、看護師130名、事務部75名、連携室44名、ケアワーカー29名、薬剤科18名、栄養科16名、総数943名のグループ病院職員が参加し、チームアプローチに関する知識を深めました。

今回は入職1～3年目の職員を対象に開催しました。退院後に患者様が自分らしく生活できることを見据え、多職種が連携し専門性を活かした支援を提供する必要があると学びました。研修会で得た知識を活かし、退院支援の質の向上に取り組んでまいります。



▲たくさんの方にご参加いただきました。



▲稲川利光先生と村上直也さん

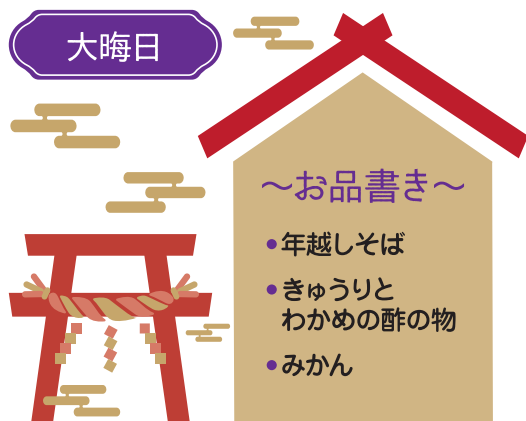


年末年始 行事食

大晦日には年越しそば、元旦は赤飯とおせち料理を提供しました。今後も安全で美味しく患者さまに喜んでいただけるよう、更なるサービス向上に努めてまいります。

2025年もよろしくお願いいたします。

栄養科 根岸



- 海老天入りのお蕎麦が美味しかった。
- みかんが冬の感じがして季節感があった。

- おせち料理が本格的で嬉しかった。
- カードがお正月感あって楽しかった。



リハビリだより

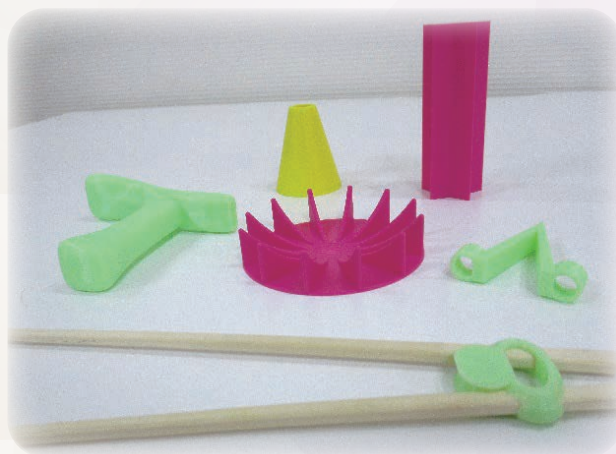
3Dプリンターで患者さまの自助具を作成

自助具とは、障害や病気などによる麻痺、加齢による身体機能の低下を原因とする動作の困難を補うための道具のことです。食事や入浴、家事、余暇活動など日常生活の様々な場面において、身体の不自由な方の自立を助け、可能な限り自分自身で容易に行えるように補助し、日常生活をより快適に送ることができるようにするための道具でもあります。



当院では先日、3Dプリンターを導入しました。3Dプリンターは樹脂などを材料に立体の構造物を作ることができるプリンターです。これまでは自助具を手作りで制作していましたが、3Dプリンターを使用することで、安価で、患者さまの状態に合わせたオーダーメイドの自助具の作成ができるようになり、選択の幅が広がりました。これからみんなでアイデアを出し、患者さまを支援する自助具をどんどん作れるようにしていきたいと思います。

リハビリテーション科 作業療法士 渡邊



■ 訪問リハほっとニュース - 利用者さまへインタビューしてみました! - ■

Q1. 当院の訪問リハビリを始めたきっかけを教えてください。

A. 元々新上三川病院に半年間入院してリハビリをしていた。その間良い指導をしてくださったおかげで退院して自宅に帰ることが出来た。是非連携が取れている新上三川病院の訪問リハビリを利用して自宅でもリハビリが続けられればと考えて、入院時の延長と考えて始めました。

Q2. 実際に訪問リハビリを利用してみて印象に残っているエピソードはありますか？

A. 自分では思いつかない身体の動かし方などを教えていただけるので、自分で出来ることの世界が広がった。



Q3. 今後、挑戦してみたいことはありますか？

A. お料理をやってみたい。
日頃、YouTubeで料理をしている動画を楽しんで観ています。

ご本人様からのコメント

スタッフの皆さんが、笑顔で接してくれ、楽しい会話ができるので、元気がもらえて嬉しいです。

訪問リハビリテーション
責任者 布川



薬剤科
だより

長引く
頑固な咳！



マイコプラズマ肺炎について

以前は、4年に一度のオリンピック開催年に定期的に流行し、オリンピック肺炎と呼ばれていたこともありましたが、新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから、大きな流行は確認されていませんでしたが、現在再び急激な増加がみられるようになってきています。

肺炎マイコプラズマという細菌によって引き起こされる呼吸器感染症のことで、一般的な肺炎と異なり、学童期から成人にみられ、高齢者に少ない傾向があります。

感染してから2～3週間と長い潜伏期間を経て、発熱、だるさ、のどの痛みなどの症状が出始めます。それから数日後に、痰の少ない乾いた咳が出始め、熱が下がった後も3～4週間と長く続くことがあります。

多くは肺炎に至る前に回復しますが、中には重症化したり、中耳炎、心筋炎、髄膜炎など、肺以外の病気を合併したりすることもあります。

感染した人の咳による飛沫を吸い込んだり、接触したりすることで感染するため、普段から流水と石鹸による手洗いをしっかり行い、感染した場合は家族間でもタオルの共用を避けるようにし、咳の症状があればマスクの着用を心がけましょう。

薬剤科 小林



医療安全 推進週間

Medical Safety Promotion Week

「医療安全推進週間」は、厚生労働省により患者さまの安全を守ることを中心とした総合的な医療安全対策活動の一環として推進されています。

今年度は、令和6年11月24日(日)～11月30日(土)の1週間が推進週間と定められており、当院でも医療安全対策を推進する取り組みを実施しました。

今年度は、医療安全をテーマとした百人一首を各部署にて作成し、掲示いたしました。当院ではこうした取り組みを通して、日頃より院内での医療安全対策に対する意識を高めています。

医療安全委員会

新上三川病院令和六年医療安全推進週間活動



医療安全百人一首



きずな

記憶に残ったエピソード



総務課 経理
高崎

入職して間もない頃は、業務の流れや処理方法を学ぶことで手一杯の中、導入の始まったインボイス制度が記憶に残っています。

私は、総務（経理）職として当院に入職しましたが、経理業務に関わることが今回初めてということもあり、不安が頭の中を埋め尽くす中で、インボイス制度、電子帳簿保存法、定額減税などが重なり、一連の対応に苦戦しましたが、周囲の支援もあり対応することができました。今後は支援する側に立てるよう成長したいと考えております。

Q&A

Q1 この仕事を選んだ理由を教えてください。

大学で専攻した、情報・法律・会計に関する知識を活用したいと考えたからです。

Q3 仕事をする上で大切にしたいことはありますか？

多職種との連携です。総務課は庶務、経理、物品管理・営繕等をはじめ多様な業務を担当しています。そのため多職種との関わりが多く、柔軟な対応をするためにも日頃から「連携」を意識することに注力しています。

Q2 どうして新上三川病院を選んだのですか？

仕事を通して地元に関わりたいという思いから、リハビリを通して地域医療に貢献する新上三川病院を知り、多職種のサポートを通して地域に貢献したいと考え、現在に至ります。

Q4 患者さまへのメッセージをお願いします。

来院された患者さまが、安心して治療やリハビリに専念できる対応を心掛けてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

my

マイトレンド

最近ハマっていることをご紹介します

trend

大学生の頃から始めた趣味として、乗馬を楽しんでいます。力強く大地を蹴り走ることによって生まれるスピードと振動を体験できることが乗馬の魅力のひとつです。乗馬は落馬防止や揺れを抑えるために体幹と下半身の筋肉を使用するため、軽い筋トレとしてもおすすめです。



